



令和5年7月10日
水管理・国土保全局
気象

福岡県に大雨特別警報発表

福岡県に大雨特別警報を発表しました。これまでの大雨で増水して氾濫の危険性が高まっているところがあります。

大雨に関する概要や留意事項を別添の通りお知らせいたします。

問い合わせ先			
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室			
企画専門官		菅 (内線 35-462)	
代表	03-5253-8111	直通	03-5253-8448
気象庁大気海洋部気象リスク対策課			
防災気象官		西 (内線 4203)	
代表	03-6758-3900	直通	03-3434-9051



福岡県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

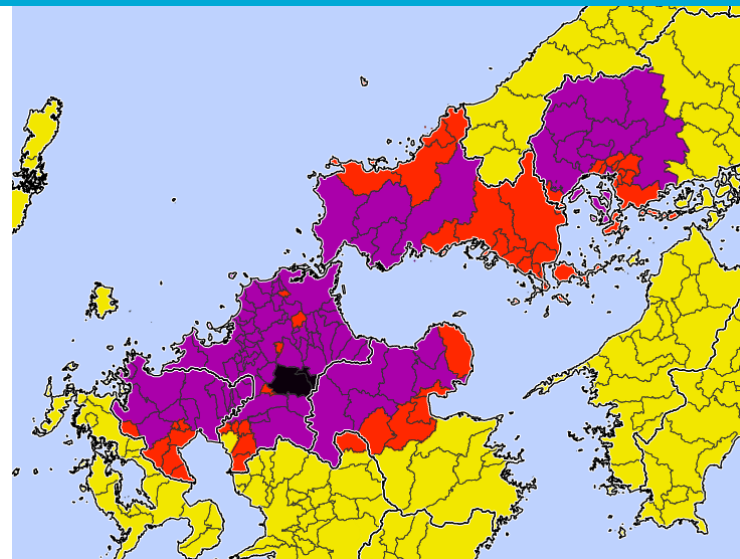
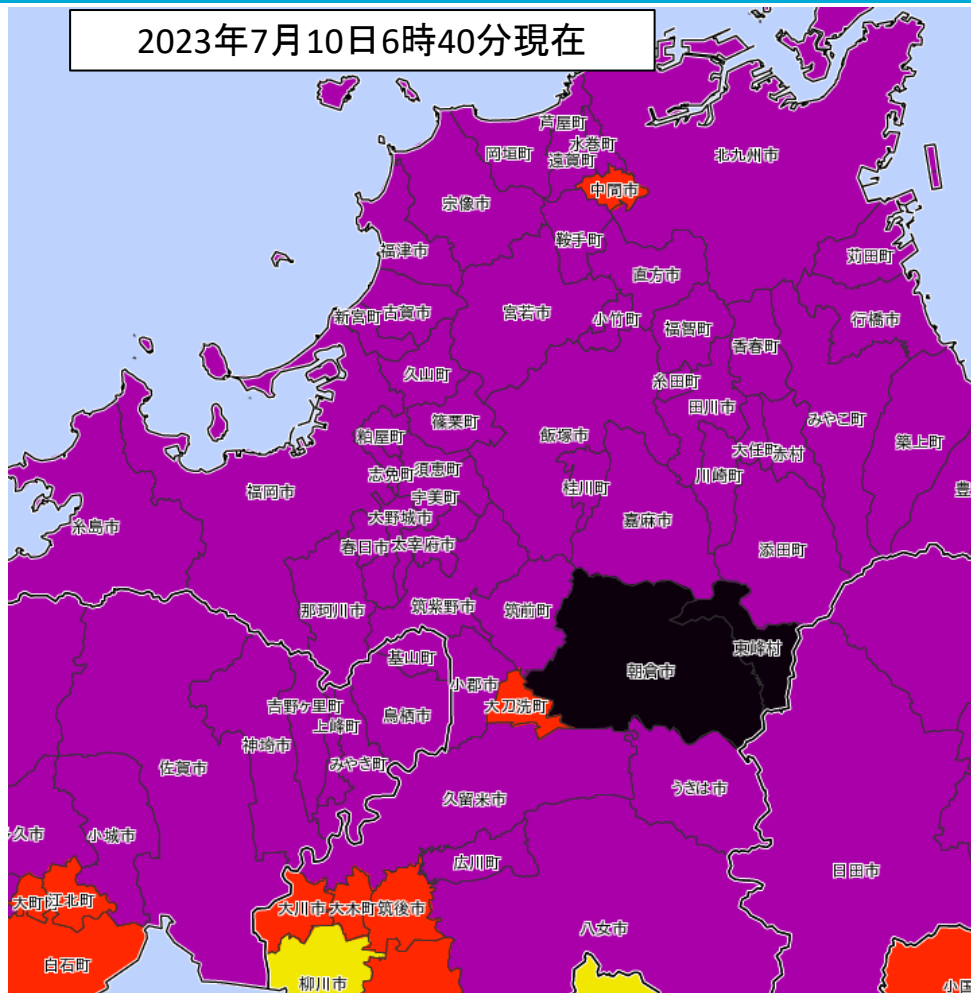
福岡県に大雨特別警報発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

特別警報・警報の発表状況



2023年7月10日6時40分現在



- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報
土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 発表なし
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

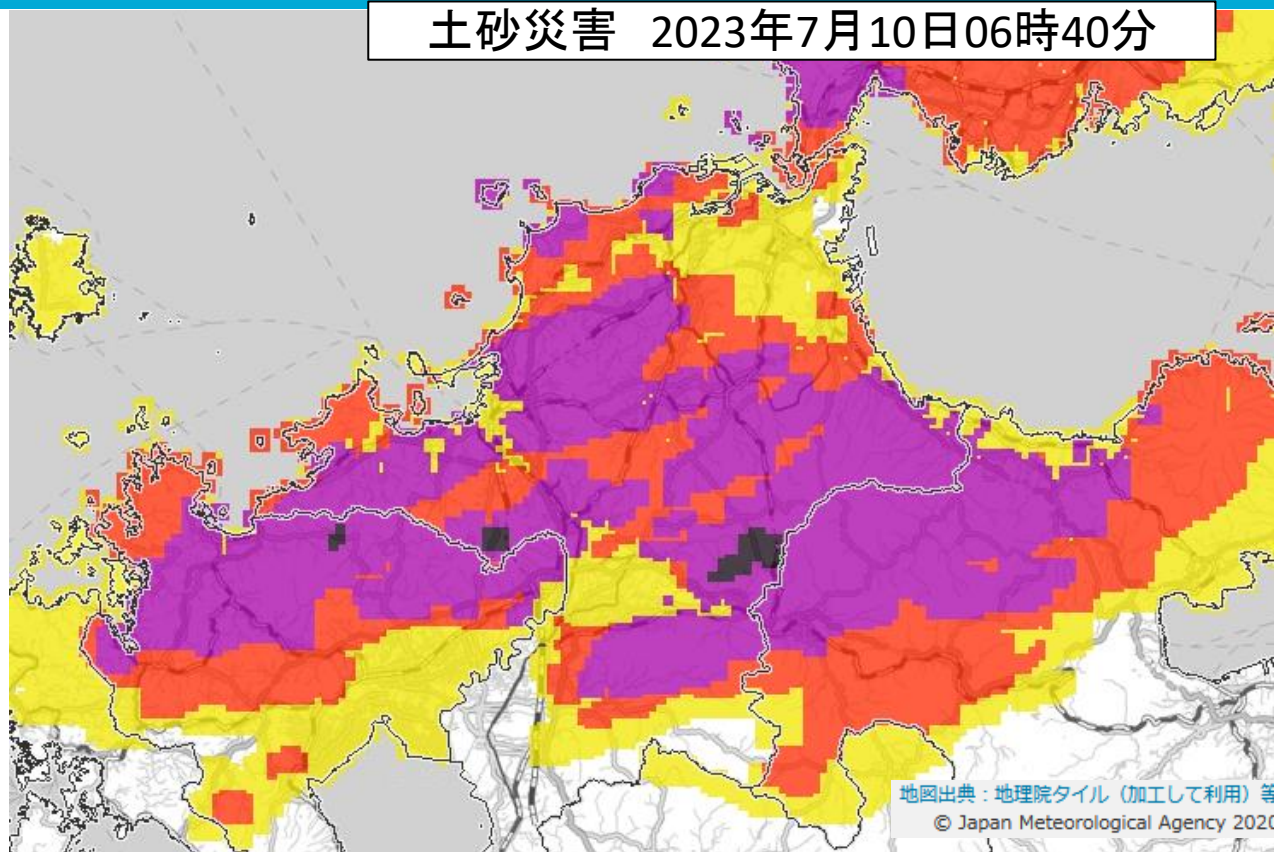
特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)



土砂災害 2023年7月10日06時40分



土砂災害の危険度

高	黒	災害切迫【警戒レベル5相当】
危険度	紫	危険【警戒レベル4相当】
	赤	警戒【警戒レベル3相当】
低	黄	注意【警戒レベル2相当】
	白	今後の情報等に留意

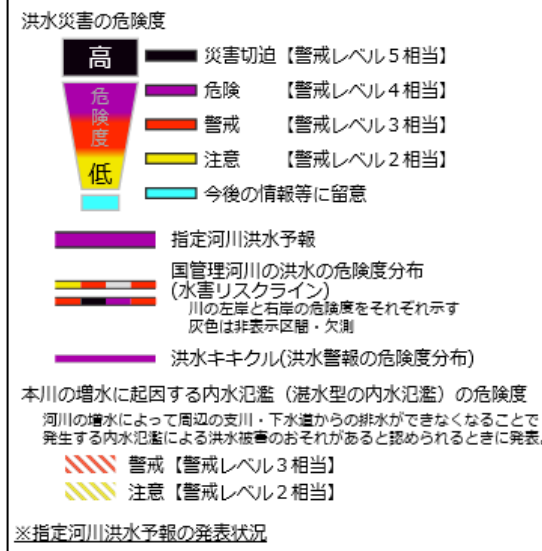
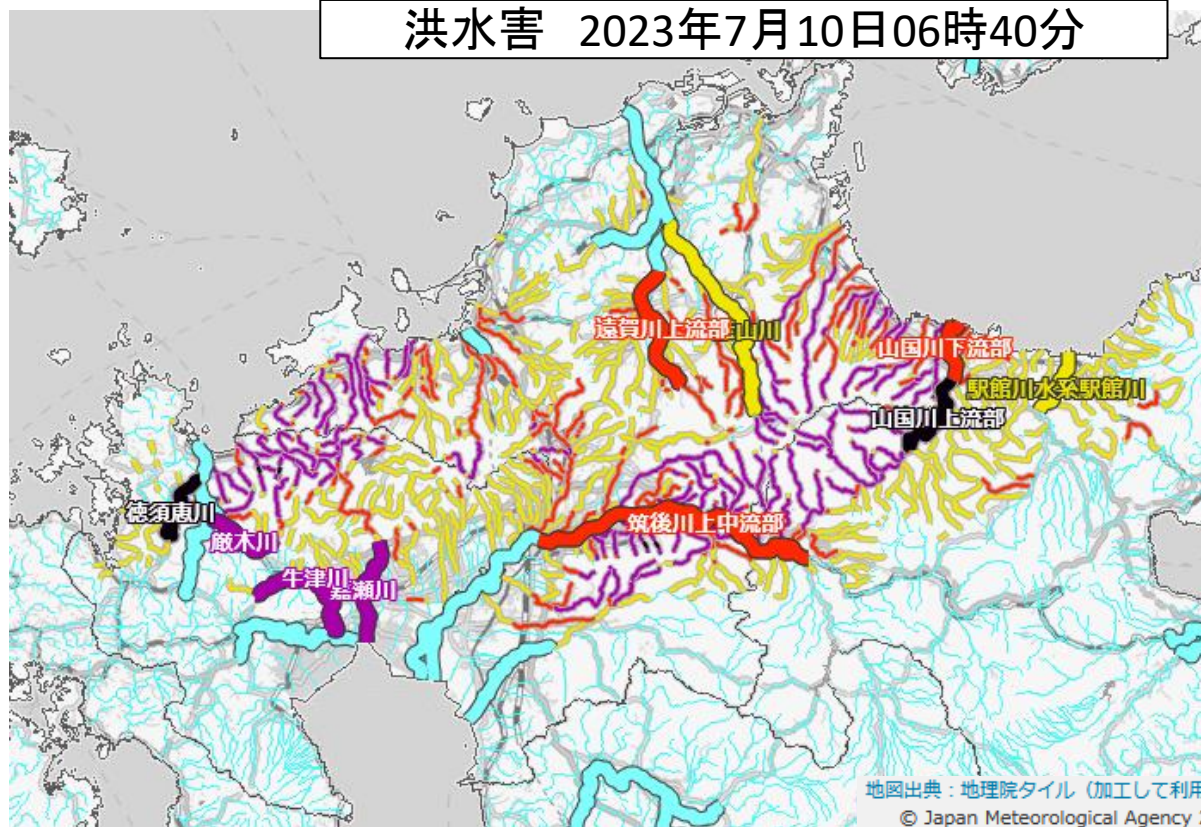
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)



洪水害 2023年7月10日06時40分



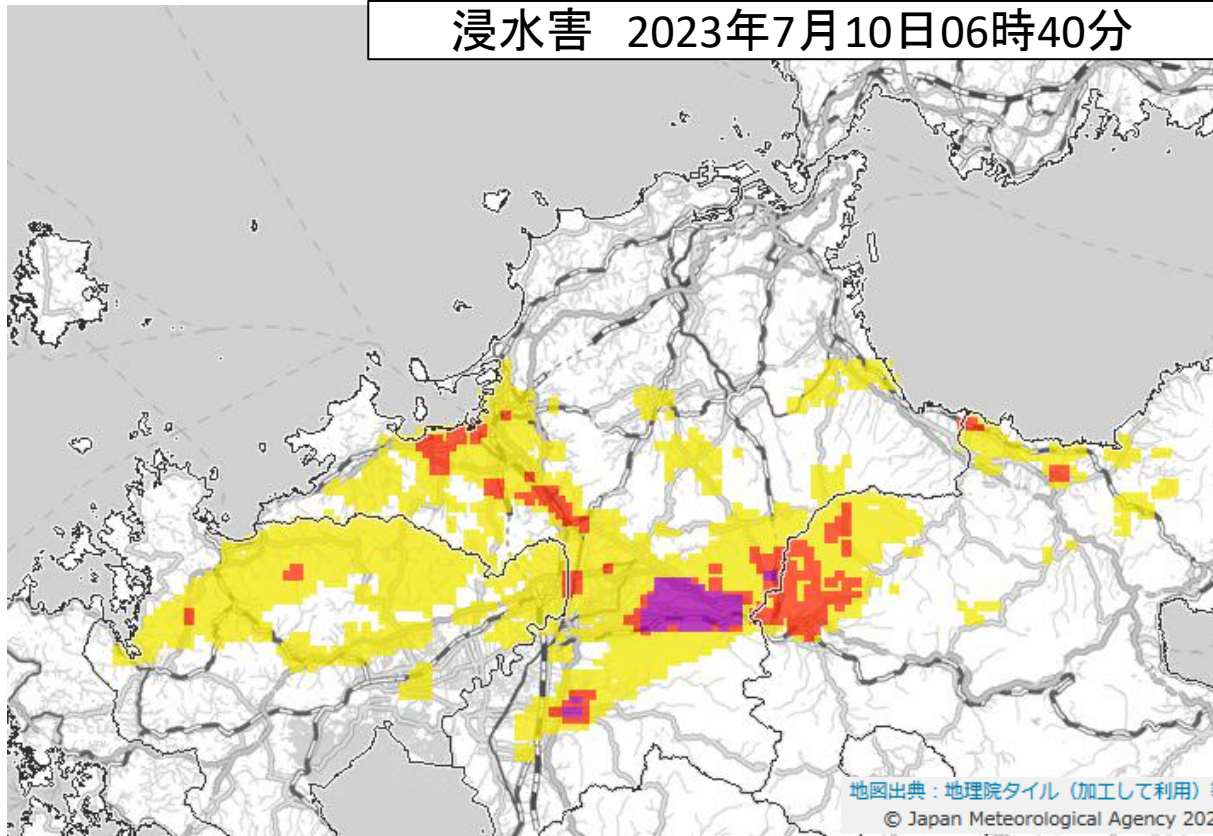
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布))：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

キキクル(危険度分布)



浸水害 2023年7月10日06時40分



浸水害の危険度



- 黒 災害切迫【警戒レベル5相当】
- 紫 危険
- 赤 警戒
- 黄 注意
- 白 今後の情報等に留意

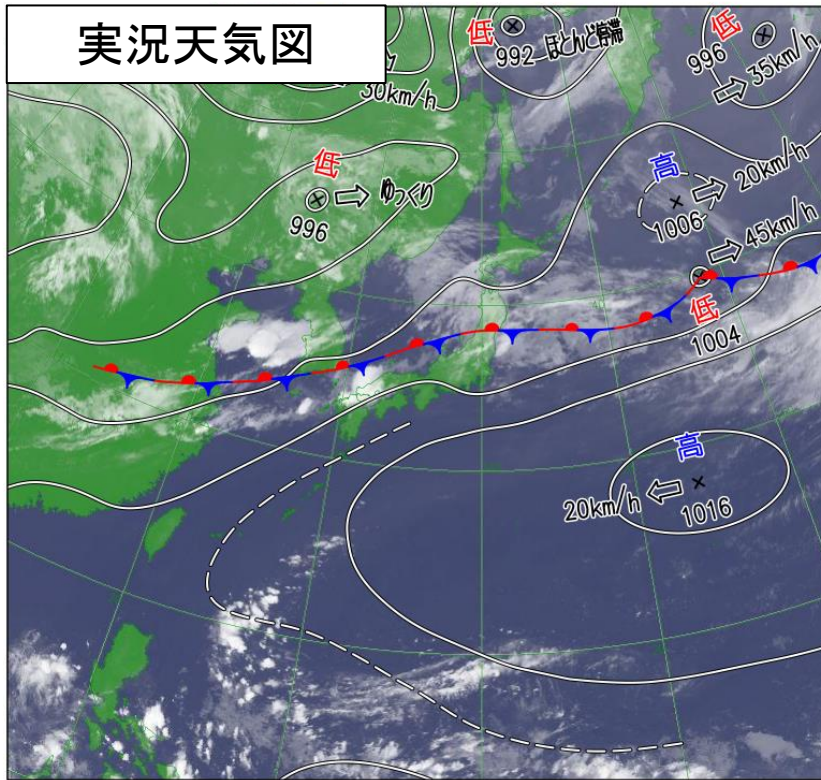
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

天気図

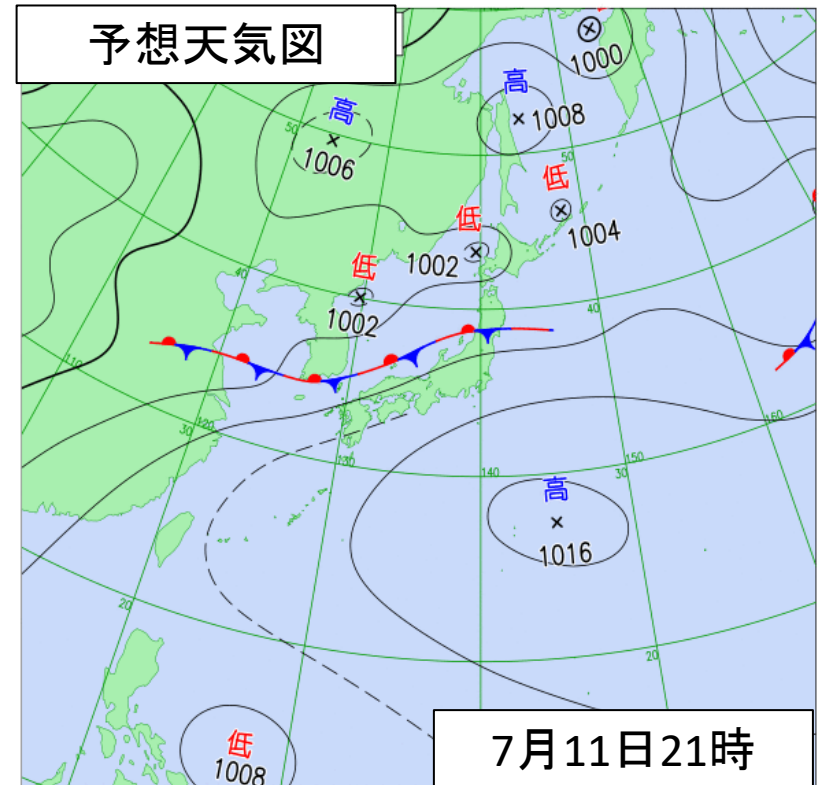


実況天気図



地上天気図
(7月10日3時)

予想天気図



予想天気図
(7月11日21時)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

大雨の警報級となる可能性のある期間



日時	日	10日		11日	12日	13日	14日
	時	06~18	18~06	06~24			
東北地方	大雨	■					
北陸地方	大雨	■	■	■	■		
東海地方	大雨	■	■				
中国地方	大雨	■	■				
九州北部地方	大雨	■	■	■			

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想



地域	11日6時までの 24時間雨量(予想)	12日6時までの 24時間雨量(予想)
東北地方	80	50~100
北陸地方	80	50~100
東海地方	80	およそ50
中国地方	100	およそ50
九州北部地方	200	およそ50

単位:ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報: <https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様態などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

河川の状況

7月10日
6時30時点

氾濫が発生している国管理河川(警戒レベル5相当)

- ・ 筑後川水系こいしわらがわ小石原川(福岡県)
- ・ 城原川じょうばるがわ(佐賀県)
- ・ 松浦川水系とくすえがわ徳須恵川(佐賀県)
- ・ 山国川水系やまくにがわ山国川(大分県)

氾濫危険水位を超過している国管理河川(警戒レベル4相当)

- ・ 筑後川水系こせがわ巨瀬川、ほうまんがわ宝満川(福岡県)
- ・ 遠賀川水系ほなみがわ穂波川(福岡県)
- ・ 六角川水系うしづがわ牛津川(佐賀県)

※この他、福岡県、佐賀県、大分県等の管理河川においても氾濫危険水位を超過している河川があります。

※この他の河川でも、水位が上昇している河川や、今後水位が上昇する河川があり警戒が必要です。

河川の状況

7月10日
6時30時点

避難判断水位を超過している国管理河川(警戒レベル3相当)

- 筑後川水系筑後川(福岡県)、花月川(大分県)
ちくごがわ かげつがわ
- 松浦川水系巖木川(佐賀県)
きゅうらぎがわ
- 嘉瀬川水系嘉瀬川(佐賀県)
かせがわ
- 遠賀川水系遠賀川(福岡県)
おんががわ

※この他、福岡県、佐賀県、大分県等の管理河川においても避難判断水位を超過している河川があります。

※この他の河川でも、水位が上昇している河川や、今後水位が上昇する河川があり警戒が必要です。

※小石原川ダム、寺内ダム(筑後川水系佐田川)、巖木ダム、
こいしわらがわ てらうち さだがわ きゅうらぎ
耶馬溪ダム(山国川)、嘉瀬川ダム等で洪水調節を実施中。
やばけい かせがわ

小石原川ダムは10時頃、寺内ダムは11時頃、

異常洪水時防災操作(緊急放流)に移行する可能性あり。

河川の水位に関する注意！！

- 一週間以上にわたり雨が断続的に降り続けているため、**流域が湿潤状態**となっていたこともあり、**河川の氾濫の危険性が高まっています。**
- **河川の水位が上昇すると、その河川へ排水しにくくなり、浸水被害（内水被害）が発生する可能性があります。**
- **雨が弱まってても、これまで流域に降った雨の影響により、河川水位の上昇が続く場合があります。**

国土交通省ウェブサイト（川の防災情報）

川の防災情報 “気象” × “水害・土砂災害”情報マルチモニタ等で情報を把握する

気象情報、水害・土砂災害情報および災害発生情報等をパソコンやスマートフォンで一覧閲覧が可能。

地域選択が可能

- ・全国
- ・北海道
- ・東北
- ・関東
- ・北陸
- ・中部
- ・近畿
- ・中国
- ・四国
- ・九州
- ・沖縄



リアルタイムのレーダ雨量の状況



気象警報・注意報の発表状況



リアルタイムの川の画像



リアルタイムの川の水位

観測所名	水名	河川名	水位 (m)	観測時刻

浸水の危険性が高まっている河川



洪水予報の発表地域



放流しているダムの状況



洪水警報の危険度分布状況

二次元コード



土砂災害の危険度分布状況

パソコン、スマートフォン:

<https://www.river.go.jp/portal/>

ハザードマップで災害リスクを確認！！

1 「ハザードマップ」で検索

2 ハザードマップポータルサイトで

The screenshot shows the Hazard Map Portal Site interface. It is divided into two main sections: "身のまわりの災害リスクを調べる" (Check disaster risk around you) and "地域のハザードマップを閲覧する" (Browse regional hazard maps).

身のまわりの災害リスクを調べる
重ねるハザードマップ
洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域のハザードマップを閲覧する
わがまちハザードマップ
市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップ

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べます。
例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す 現在地から探す
新機能（災害リスク情報のテキスト）

地図から探す
地図を見る

災害の種類から選ぶ
洪水 土砂災害 高潮 津波

地域検索
都道府県
市区町村
ハザードマップの種類
この内容で閲覧

住所入力 (Annotation pointing to the address input field)

現在地検索 (Annotation pointing to the "現在地から探す" button)

または (Annotation pointing to the "または" text)

ハザードマップで災害リスクを確認！！

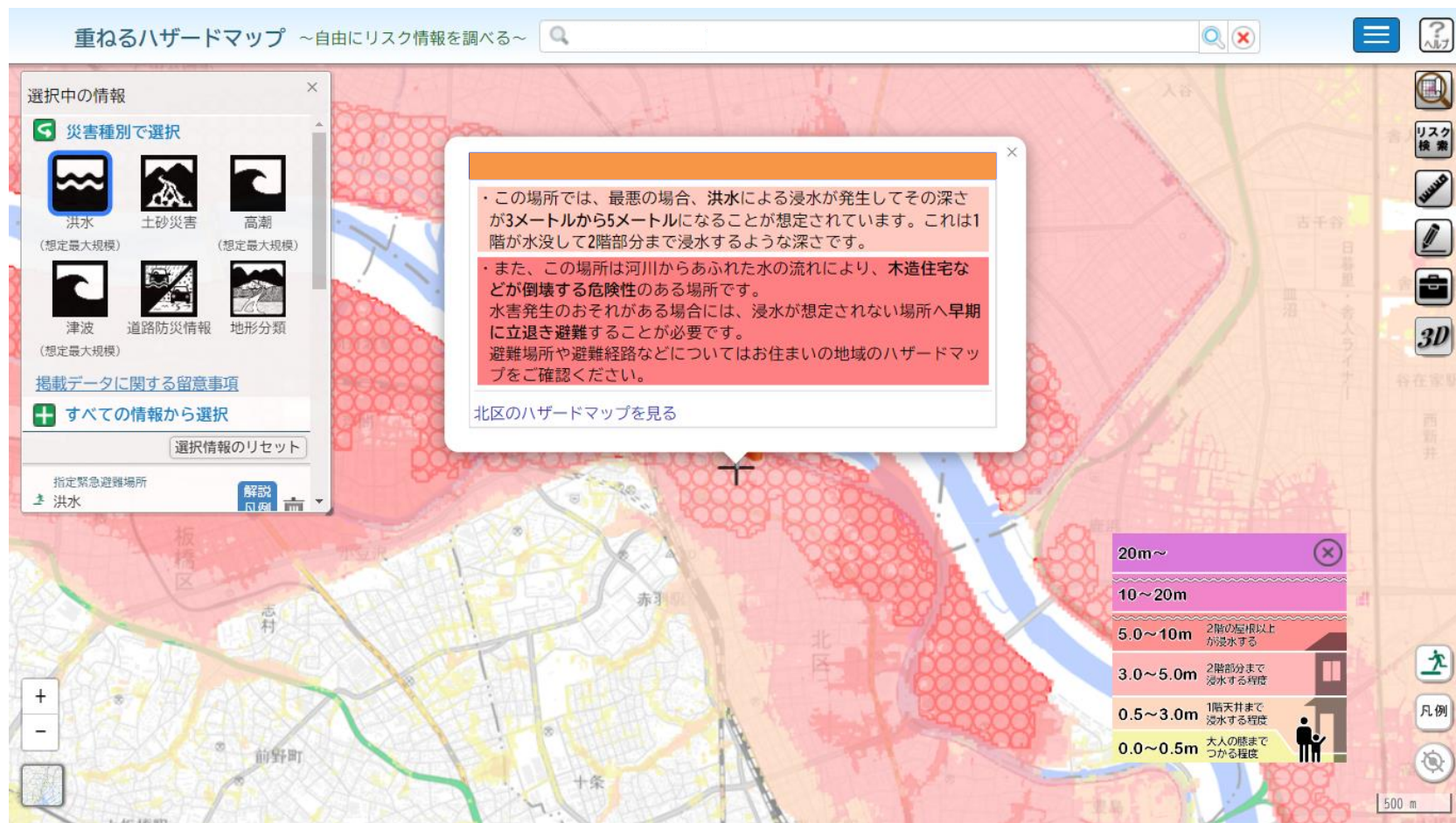
3 地図上に文章でリスクや取るべき行動が表示されます

最大浸水深は何
m？

床上浸水？
2階まで浸水？

土砂災害の危険性は？

命を守るための行動は？



きゅうらぎ かせがわ こいしわらがわ てらうち やばけい
巖木ダム・嘉瀬川ダム・小石原川ダム・寺内ダム・耶馬溪ダム 位置図



小石原川ダム 筑後川水系小石原川(福岡県朝倉市江川2815-20)

7月10日6:30時点

緊急放流 実施の可能性

小石原川ダム流域(流域平均)

10分雨量: 6.5mm

降り始めからの雨量: 432.0mm

現在の貯水位
351.69m

全流入量: 147.98m³/s

洪水時最高水位: 353.00m

平常時最高貯水位: 349.10m

全放流量: 61.60m³/s

貯水率(利水容量): 100.0%

最低水位: 279.30m

※この図は模式図であり、実際のダムの形状とは異なります

寺内ダム 筑後川水系佐田川(福岡県朝倉市荷原1516-1)

7月10日6:30時点

緊急放流 実施の可能性

寺内	
10分雨量：	4.0mm
降り始めからの雨量：	302.0mm

現在の貯水位
124.77m

緊急放流(異常洪水時防災操作)判断水位：129.80m

全流入量：336.02m³/s

洪水時最高水位：131.50m

全放流量：119.66m³/s

平常時最高貯水位：121.50m

貯水率(利水容量)：100.0%

最低水位：93.00m

※この図は模式図であり、実際のダムの形状とは異なります

7月10日6:30時点

洪水調節 実施中

耶馬溪ダム上流域(流域平均)
10分雨量: 3.5mm
降り始めからの雨量: 279.2mm

現在の貯水位
162.86m

緊急放流(異常洪水時防災操作)判断水位: 173.00m

全流入量: 278.06m³/s

洪水時最高水位: 175.00m

全放流量: 253.78m³/s

平常時最高貯水位: 162.00m

貯水率(利水容量): 100.0%

最低水位: 142.50m

※この図は模式図であり、実際のダムの形状とは異なります

厳木ダム

松浦川水系厳木川(佐賀県唐津市厳木町大字広瀬)

7月10日6:30時点

洪水調節 実施中

厳木ダム上流域(流域平均)

10分雨量: 0.9mm

降り始めからの雨量: 448.6mm

現在の貯水位
198.44m

緊急放流(異常洪水時防災操作)判断水位: 218.00m

全流入量: 209.98m³/s

洪水時最高水位: 218.00m

全放流量: 78.30m³/s

平常時最高貯水位: 199.10m

貯水率(利水容量): 100.0%

最低水位: 168.10m

※この図は模式図であり、実際のダムの形状とは異なります

嘉瀬川ダム 嘉瀬川水系嘉瀬川(佐賀県佐賀市富士町大字畑瀬地先)

7月10日6:30時点

洪水調節 実施中

嘉瀬川ダム流域(流域平均)

10分雨量: 2.3mm

降り始めからの雨量: 474.7mm

現在の貯水位
292.11m

緊急放流(異常洪水時防災操作)判断水位: 298.66m

全流入量: 852.26m³/s

洪水時最高水位: 300.00m

平常時最高貯水位: 292.50m

全放流量: 427.69m³/s

貯水率(利水容量): 99.4%

最低水位: 245.50m

※この図は模式図であり、実際のダムの形状とは異なります

平成29年7月九州北部豪雨(赤谷川等)

- 平成29年7月5日、6日の大雨「平成29年7月九州北部豪雨」では、朝倉雨量観測所等で観測史上1位の雨量を記録するなど、記録的な大雨により、出水や山腹崩壊が発生。
- 河川の氾濫、大量の土砂や流木の流出等により、死者40名、家屋の全半壊等約1,513棟、家屋浸水約1,806戸の甚大な被害が発生。

項目	状況等
人的被害※1	死者40名、行方不明者2名、負傷者33名
住家被害※1	全壊338棟、半壊1,100棟、一部破損75棟、家屋浸水1,806棟
救助者数	警察庁 445人※7 消防庁 283人※5 海上保安庁 40人※6 防衛省 658人※7

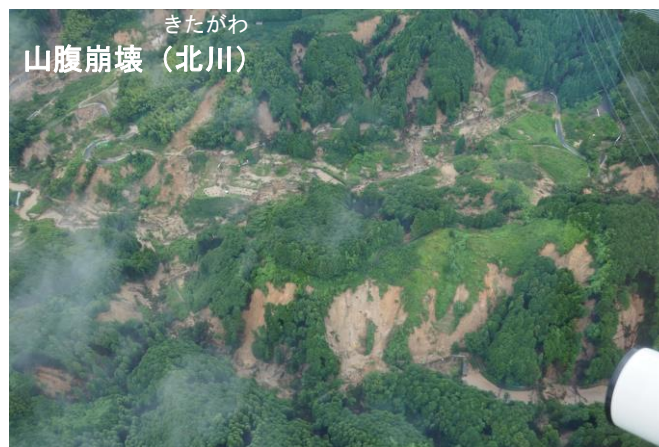
※1 消防庁「平成29年6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号の被害状況及び消防機関等の対応状況について」(平成30年6月1日15:00現在)

※2 各時点の消防庁災害対策本部報のうち、最大であった数値を記載
(①第6報 7/6 4:00現在発令中、②第16報 7/7 18:00現在発令中)

※5 消防庁「平成29年6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号の被害状況及び消防機関等の対応状況 等について」(8月2日18:30時点)

※6 国土交通省「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号による被害状況等について」(8月2日10:00現在)

※7 内閣府「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号による被害状況等について」(平成30年1月17日12:00現在)



大雨が降ると...

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

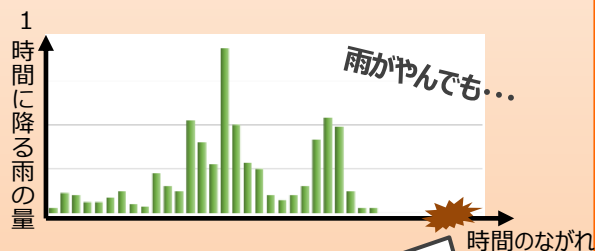
安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！



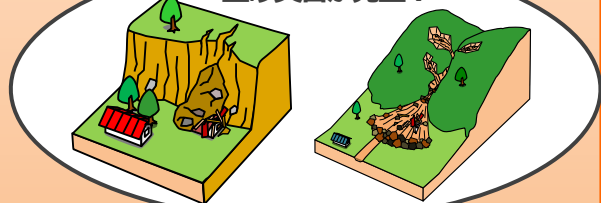
大雨がやんでも…

土砂災害の危険が継続!

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

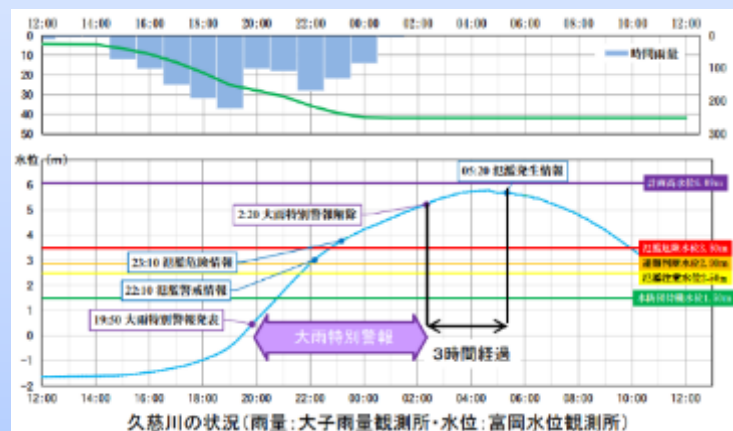
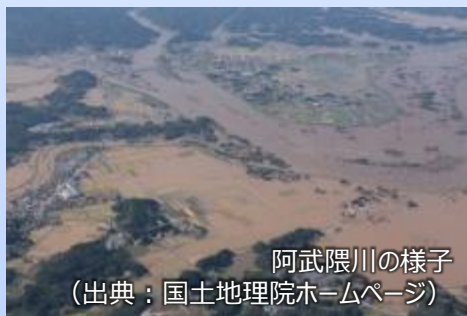


土砂災害が発生!



油断禁物! 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展: 「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報



気象庁等の情報			市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
キキクル					
大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
< 警戒レベル4までに必ず避難！ >					
土砂災害警戒情報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
高潮警報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
高潮特別警報					
※大雨警戒情報 洪水警戒情報	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
高潮警戒情報に切り替える可能性が高い注意報					
大雨警戒情報に切り替える可能性が高い注意報					
大雨注意報 洪水注意報			第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1
高潮注意報					
早期注意情報 (警報級の可能性)					

- ・心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認

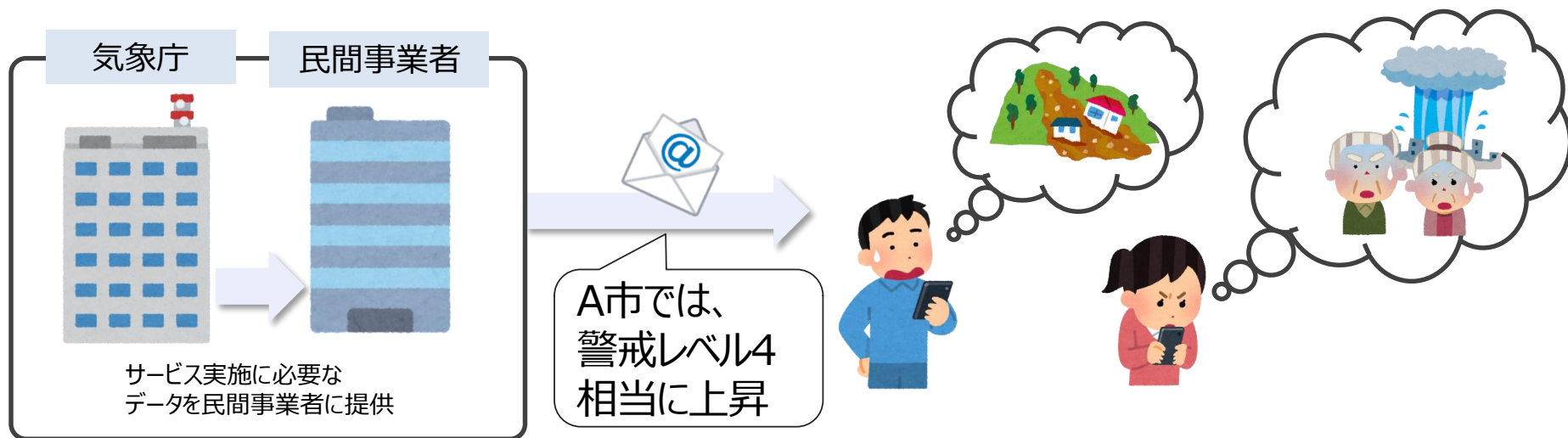
※ 夜間～翌日早朝に大雨警戒情報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて



- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。